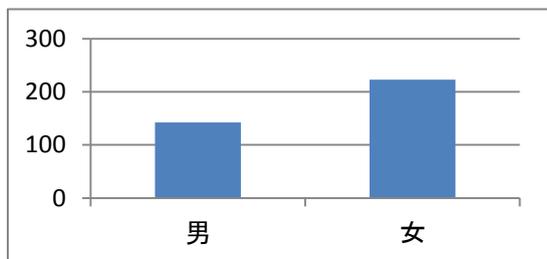


魅力ある博物館を目指して ～来館者アンケートを基に～

西都原考古博物館では、開館以来来館者へのアンケートを実施している。アンケートの目的は「来館者に関するデータや意見・感想を調査することで、展示及び古代生活体験活動のさらなる改善を目指す」である。1人1人の博物館になるように、書いて頂いた1枚1枚のアンケートを大事にしてきた。

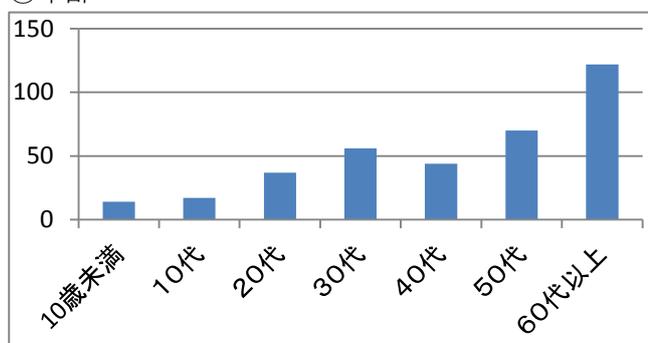
平成25年11月にアンケートを実施した。最新のアンケート結果から考古博物館の今後のあり方を考えてみたい。期間中は10,589人の来館者があり、365枚のアンケートを回収することができた。

①性別



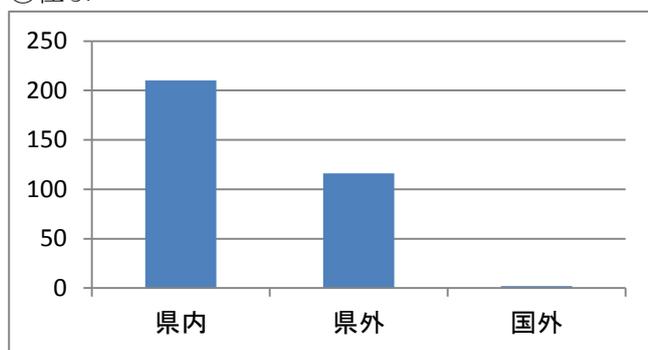
性別は、男性 38.9%、女性 61.1%であった。

②年齢



年齢は、20歳以上が 91.4%を占めている。その中でも 50歳以上が 53.3%であった。

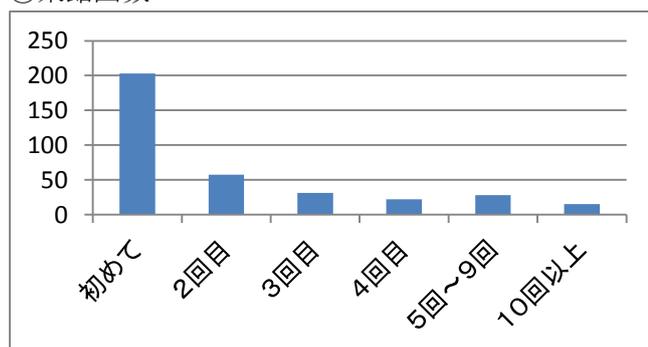
③住まい



住まいは、県内 64%、県外 35.4%、国外 0.6%。県内では多い順に宮崎市 35.4%、西都市 6.1%、延岡市と都城市 3.7%と続いた。県外では、多い順に福岡県 7.3%、鹿児島県 7%、熊本県 2.4%と続いた。

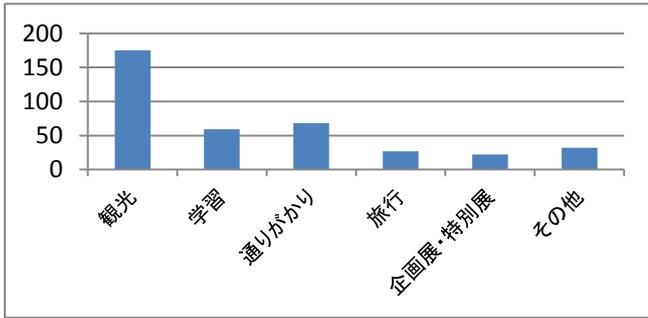
国外は中国（蘇州）1人、米国（ボストン）1人で割合は 0.6%であった。

④来館回数



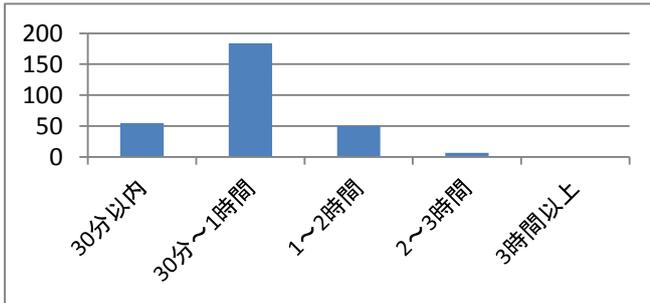
来館回数は、初めてが 57%を占めた。2回目 16%、3回目 8.7%、5～9回 7.9%、4回目 6.2%、10回以上 4.2%であった。

⑤来館目的やきっかけ



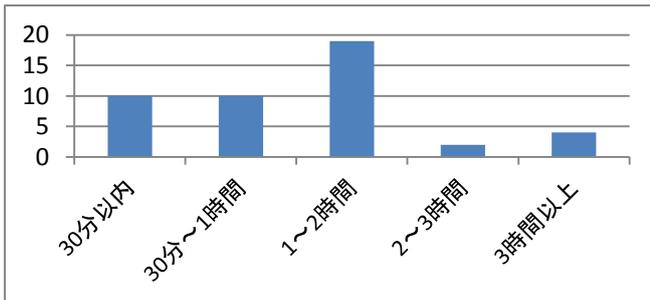
来館目的やきっかけは、観光が 45.7%を占めた。通りがかり 17.9%、学習 15.4%、旅行 7%、特別展・企画展 5.7%、その他 8.4%であった。

⑥展示室見学時間



展示室見学時間は、30分以内 18.6%、30分～1時間 62.2%、1～2時間 16.9%、2～3時間 2.4%であった。

⑦体験館体験時間



体験館体験時間は、30分以内 22.2%、30分～1時間 22.2%、1～2時間 42.2%、2～3時間 4.4%、3時間以上 8.9%であった。

以上のアンケート結果をふまえ、当館の3つの施設コンセプトに沿って、これからの考古博物館のあり方を考えてみたい。

①私自身と共に成長する（常新）する博物館

本博物館は10年間、特別展（春）、国際交流展（秋）、企画展（夏・冬）、コレクションギャラリー展等を開催してきた。また、一般展示でも常新を心がけてきた。今回のアンケートのお気付きの点の欄には「毎回、展示が変わっていて新鮮」「展示は見事の一言、レベルの高さがよく出ている」等の感想があった。古代生活体験館でも毎年、体験プログラムの検討を行ってきた。アンケートには「確かな技術、幅広い経験をもったスタッフのもと、満足いく作品作りができる」等の感想があった。今後も、来館するたびに皆が成長できる博物館であるように努力していきたい。

②利用者1人1人のための博物館

展示室、古代生活体験館には観光や学習、特別展や企画展の見学を目的に、県内県外の老若男女が集う。見学や体験の滞在時間が長いのも本博物館の特徴である。まだ考古博物館を知らない方にも来て頂き、1人1人にとって、さらに魅力的な博物館になるようにしていきたい。

③次代を担う人材育成に寄与する考古博物館

職員は、使命感をもって事業理念やコンセプトの達成に向けて努力している。平成26年度は10周年を迎える年である。県民の財産である考古博物館が「未来日向の創造」に向けて益々発展していくように、県内外の皆さんと共に、さらに努力していきたい。

（泊 俊一郎）